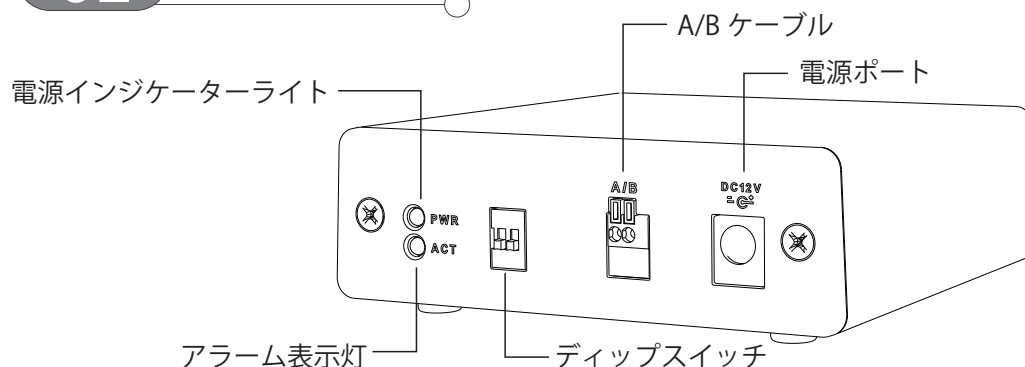


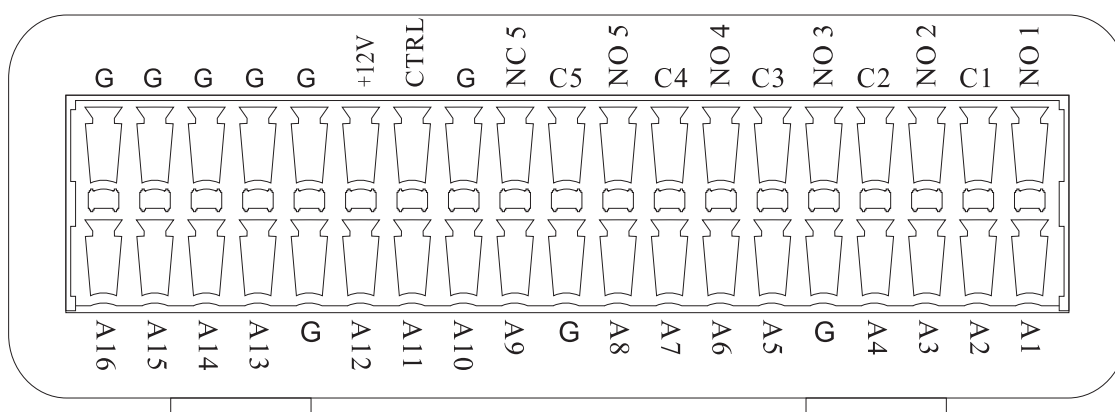
NS-ARB 取扱説明書

平素より弊社製品をご利用いただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。

01 前面パネル



02 ポートについて



Icon	Note
G	GND
+12V	定格出力。電流 :500mA
CTRL 12V	6 番目のチャンネルの出力を制御します。 電流 : 500mA。 ・警報出力がある場合は電源出力を閉じてください。 ・警報出力を解除する場合は、電源出力をオープンにしてください。
NO5 C5 NC5	NO/NC オンオフ出力 1 グループ
NO 1 C1, NO 2 C2, NO 3 C3, NO 4 C4	4 グループの NO 作動出力 (オンオフボタン)
A 1 ~ A 16	アラーム入力 ALARM 1 ~ ALARM 16 に対応。 アラーム入力は低電圧時に有効となります。

03

オペレーション

コネクション

ステップ 1:

アラームボックスアドレスを設定します (DIP 設定に従って、対応するアドレスを設定します。下表を参照してください。) 設定アドレスがすでに存在する場合、通信エラーが発生します。

Address	1	2
0	OFF	OFF
1	ON	OFF
2	OFF	ON
3	ON	ON

ステップ 2: DVR を起動し、アラーム ボックスを RS485 ポートに接続します。



Note

A/B ケーブルの接続が間違っていると通信エラーが発生します。

ステップ 3: アラーム ボックスのプロパティを設定します。

ステップ 4: アラーム ボックスのアドレスは、DIP アドレス設定と同じである必要があります。アラームボックスの電源ケーブルを接続します。

アラーム ボックスの赤いライトが点灯していれば、デバイスの電源接続は正常です。



Note

アクセサリ バッグに同梱されている 1 ~ 2 電源ケーブルは、12V電源を使用してください。

コミュニケーション

アラームボックスを電源に接続してから 3 分以内に緑色のライトが点灯します。通信が正常であれば 1 秒ごとに点滅します

アラーム入力

アラーム機能を有効にします。

- デバイスタイプが NO の場合、アラーム入力を GND と短絡すると、対応するアラーム動作をトリガーできます。
- デバイス タイプが NC の場合、対応するイベント アクションを自動トリガーできます。

アラーム出力

ローカルアラームと同じです。